

平成30年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	種播期は平年より1日遅い5月28日であった。5月下旬以降やや高温に経過し、降雨もあったことから出芽は良好で、出芽期は平年並から1日早かった。その後、6月中旬は低温寡照に経過したことから生育は停滞し、草丈及び葉数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	やや不良	7月上旬以降も低温寡照傾向であったことから生育は引き続き緩慢で、金時類の開花始は平年より5～6日遅かった。葉数はほぼ平年並であるが、草丈および分枝数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	やや良	手亡類の開花始は平年より7日遅かった。7月下旬は高温に経過したことから生育は回復し、草丈および葉数は平年並、分枝数および着莢数は平年をやや上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	やや良	8月下旬以降は低温傾向に経過したことから、成熟期は3～8日遅かった。 金時類は、百粒重は平年並からやや軽かったが、着莢数および一莢内粒数は平年並からやや上回ったことから、子実重は平年を上回った。9月以降は降雨が平年より少なかったことから、屑粒率は平年より低かった。 手亡類は、着莢数は平年を下回ったが、一莢内粒数は多く、百粒重はやや重かったため、子実重は平年並であった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
11月20日	やや良	出芽期から開花期頃まで低温傾向であったため、生育は抑制され、開花始は平年より5～7日遅かった。8月下旬以降も低温で推移したため、成熟期は平年より3～8日遅かった。 手亡類では、着莢数は平年を下回ったが、一莢内粒数は多く、百粒重はやや重かったため、子実重は平年並であった。金時類では、百粒重は平年並からやや軽かったが、着莢数および一莢内粒数は平年並からやや上回ったことから、子実重は平年を上回った。 8月下旬から成熟期まで低温で経過し、降雨が平年より少なかったことから、発芽粒や色流れ粒の発生は少なく、屑粒率は平年より低かったため、検査等級は平年を上回った。 以上のことから、本年の作況はやや良である。

生育データ

品種名	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.28	5.27	1	5.28	5.27	1	5.28	5.27	1	
出芽期(月日)	6.7	6.7	0	6.8	6.9	△ 1	6.9	6.10	△ 1	
開花始(月日)	7.25	7.18	7	7.16	7.11	5	7.17	7.11	6	
成熟期(月日)	9.20	9.12	8	9.2	8.30	3	9.11	9.3	8	
草丈 (cm)	6月20日	6.8	7.1	△ 0.3	9.8	10.4	△ 0.6	9.1	10.0	△ 0.9
	7月20日	42.2	53.8	△ 11.6	46.2	49.3	△ 3.1	46.8	48.9	△ 2.1
	8月20日	71.1	67.1	4.0	51.6	51.5	0.1	57.2	54.7	2.5
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	63.1	64.5	△ 1.4	49.1	51.1	△ 2.0	51.2	53.3	△ 2.1
葉数 (枚)	6月20日	0.3	1.1	△ 0.8	0.2	0.9	△ 0.7	0.3	1.1	△ 0.8
	7月20日	6.1	6.7	△ 0.6	4.2	3.7	0.5	4.3	3.9	0.4
	8月20日	7.8	7.2	0.6	4.2	3.8	0.4	4.5	4.0	0.5
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主莖節数 (節)	成熟期	9.0	8.9	0.1	6.0	5.8	0.2	6.2	5.9	0.3
分枝数 (本/株)	7月20日	7.0	7.7	△ 0.7	6.9	7.0	△ 0.1	5.8	6.7	△ 0.9
	8月20日	9.3	8.7	0.6	7.2	6.3	0.9	7.3	6.0	1.3
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	7.8	7.5	0.3	5.3	6.1	△ 0.8	5.5	5.4	0.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	36.8	34.9	1.9	19.9	17.2	2.7	21.4	16.9	4.5
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	28.1	30.7	△ 2.6	17.1	16.9	0.2	18.3	15.7	2.6
一莢内粒数(粒)	4.44	4.17	0.27	2.99	2.73	0.26	2.54	2.66	△ 0.12	
総重(kg/10a)	720	660	60	507	508	△ 1	572	550	22	
子実重(kg/10a)	360	353	7	278	245	33	314	269	45	
百粒重(g)	35.5	34.3	1.2	63.1	66.6	△ 3.5	81.9	82.2	△ 0.3	
屑粒率(%)	2.4	17.7	△ 15.3	10.6	16.0	△ 5.4	9.8	19.5	△ 9.7	
品質(検査等級)	2上	3中		2下	3上		2中	3上		
子実重対平年比(%)	102	100	2	113	100	13	117	100	17	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成23年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。  
ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。  
2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。  
3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。  
4) 品質(検査等級)は、旧農産物規格規定(普通いんげんの規格その1(素莢))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	赤クローバ	60	20	2	8,333	5.28
施肥量(kg/10a)							
N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		